

2025年7月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 E M シ ス テ ム ズ
(登記上の商号 株式会社イーエムシステムズ)
代表者名 代表取締役社長執行役員 國光 宏昌
(コード番号 4820 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員経営戦略本部長 小林 大悟
(TEL 06-6397-1888)

持続的成長に向けた長期目標の再策定に関するお知らせ

株式会社EMシステムズ（以下「当社」という）は、当社の存在意義（パーパス）である「デジタルで日本の医療・介護の現場を支える会社」の実現に向けた中長期的な価値創造の道筋を示す重要課題（以下「重要課題」という）と持続的成長に向けた長期目標を、本日開催の取締役会での承認を経て、下記のとおり再策定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本発表の背景と目的

日本の医療・介護現場が直面する課題に対し、当社は「デジタルで日本の医療・介護の現場を支える会社」をパーパスに掲げ、デジタルソリューションを通じて貢献し、「医療・介護を『#ありがとう』に変えていく」ビジョンを目指しています。

このビジョン達成と持続的な企業価値向上を両立させるため、2024年11月に発表した新中期経営計画では、「持続可能なシステム構築」「人的資本経営の更なる推進」を経営戦略の優先事項と定めております。

今回再策定いたしました持続的成長に向けた長期目標は、事業戦略と各取り組みを統合し、変化する社会要請や事業環境に対応するため多角的な視点で見直したものであり、当社の提供サービスの価値向上と経営戦略の実現に向けた道筋を、ステークホルダーの皆様にも明確にお伝えするものでございます。

2. 重要課題と2030年までの主要KPI

当社は、知的・人的・社会関係・製造といった多様な資本を投入し、医療・介護現場のニーズに即したシステム開発・提供を通じて価値を創造しております。価値創造を継続するためには、外部環境のリスクを認識し、適切に管理することが不可欠です。

この考えに基づき、今回の重要課題の再策定と同時に、サイバーセキュリティリスク、電力依存リスク、人材不足リスク、競争激化リスクという4つの外部環境リスクを特定いたしました。これらのリスクへの対応策に加え、機会創出の視点も踏まえながら、特に注力すべき3つの重要課題を特定し、それぞれに2030年までの主要KPIを刷新して設定いたしました。

重要課題	2030年までの主要KPI※
1. 医療・介護の未来を拓くデジタルソリューション	1. 先進技術を活用した新規ソリューション・サービスの提供（件数） 2. 医療情報連携（EHRサービス）の接続施設数：医療機関、保険薬局合わせて1,200施設 3. 他業種や新たなパートナーシップ・協業の促進（提携数）：10社 4. 医療分野の先進的な学術研究および行政のDX推進への貢献（件数）
2. 信頼を築く安全な情報基盤とガバナンス	1. セキュリティインシデントの重大事故：ゼロ件（継続） 2. 不祥事・重大法令違反：ゼロ件（継続） 3. 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証の取得維持 4. BCP訓練の実施：年に1回（継続） 5. コンプライアンス教育のe-Learning受講率：100%/年 6. 品質管理機能の実効性の継続的な評価と向上
3. 持続的成長を支える人と地球の健康	【人的資本】 1. 女性管理職比率：30%、男性育休取得率：30% 2. 従業員エンゲージメント調査 レーティング：「A」相当 3. 健康経営優良法人継続認定 4. 従業員の変革適応力強化に向けた人的投資（年間研修時間/人、費用/人） 【環境配慮】 1. 温室効果ガス排出量（Scope 1+2）：2020年比 25%削減 2. 主要な社内外プロセスの電子化比率（電子契約等）：80%

※これらの取り組みは原則として当社グループ全体で推進いたしますが、一部の取り組みやKPIについては、事業特性等を考慮し個別に対応する場合があります。

3. 今後の展望

当社は、この度再策定いたしました本長期目標に基づき、社会の課題解決に貢献するという強い意志のもと、各重要課題の施策を推進し、進捗を定期的に開示します。これにより、株主様、お客様、従業員をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様とともに、社会からの期待に応え、持続可能な社会の実現と企業成長を加速させてまいります。

以上